

助成区分：地域連携活動支援事業

助成テーマ：高齢者などが地域で普通の暮らしをすることを支援する事業

特定非営利活動法人 寝屋川あいの会

『団塊世代による高齢者相互の支え合い事業』

【助成金額：5,732 千円】



ここに注目！

- 元気高齢者が生活上の課題を抱える高齢者をサポートする、有償ボランティアによる支え合いの仕組みを構築したことで、多様な生活ニーズに応じた支援が行われています。
- 寝屋川市、社会福祉協議会、NPO団体、介護事業所等が一体となり「寝屋川高齢者サポートセンター」を設置、コーディネーターによる丁寧な対応によって、適切な支援へとスピーディーにつなげています。

事業の背景

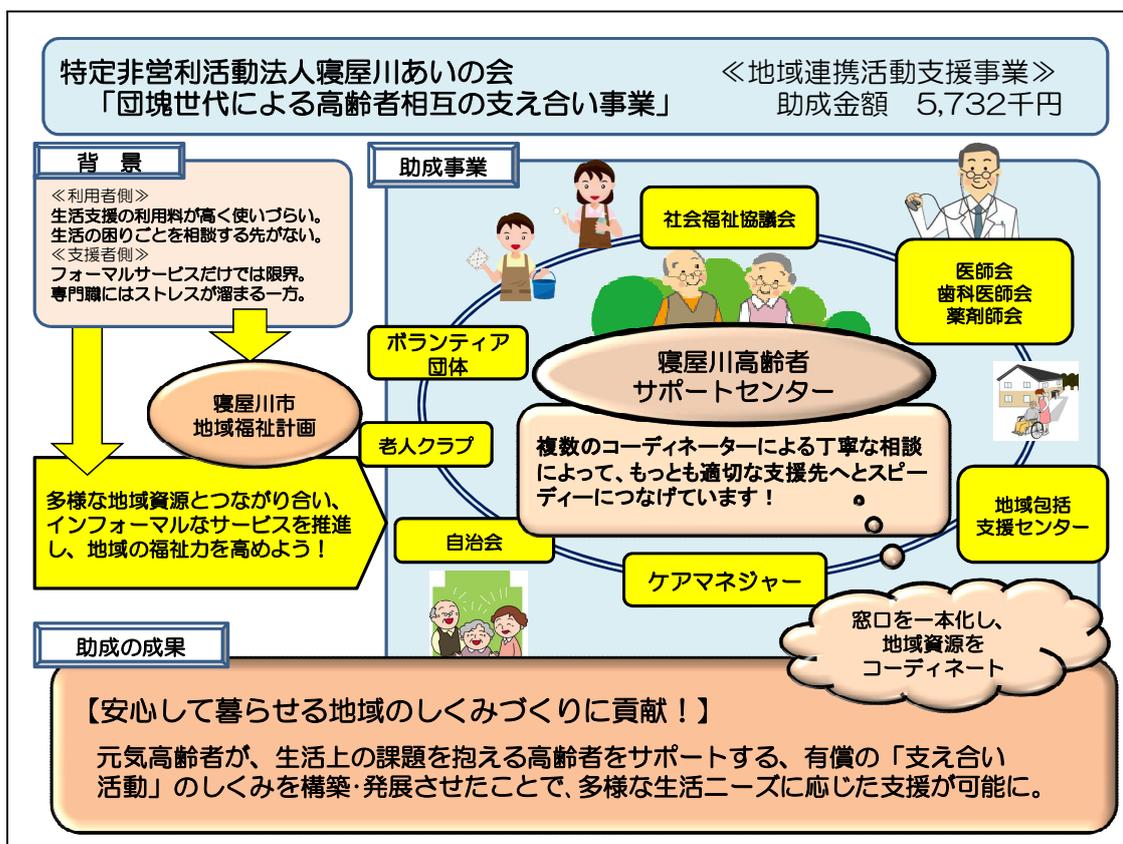
- 介護保険をはじめとする公的なサービスだけでは、高齢者の多様化する生活ニーズへの支援には限界があり、「制度外の支援は利用料金が高くて使いづらい」、「生活の困りごとを相談する相手先が見つからない」といった声も聞かれるようになっていました。また、支援する側の専門職の方々も、高齢者の期待に応え切れていないことにストレスを感じている状況でした。
- そこで、この団体では、地域の団塊世代を中心に、介護保険制度等によるフォーマルサービスと地域住民による生活支援等のインフォーマルサービスを、切れ目なく一体的に提供できる支え合いのシステムづくりに取り組まれました。

事業概要

- 介護・福祉の切れ目のない支援づくりを目指すため、平成22年度からWAM助成を活用して「高齢者サポートセンター」を設置しています。このセンターでは、複数のコーディネーターによる丁寧な相談が行われ、適切な支援先へとスピーディーにつないでいます。
- この仕組みには、寝屋川市内の行政、医療・福祉・介護関係団体等で構成された地域ぐるみの運営協議会が設立され、高齢者の生活上の課題解決に向けて検討されています。
- フォーラムの開催やカフェの運営、サポートセンター利用パンフレットの配布を通じて、寝屋川市内に事業の浸透を図った結果、支援件数は倍増（981件（24年度））し、地域に活動が浸透した効果で、支援者も着実に増えています。
- 生活支援を担うこの事業は、寝屋川地域での「地域包括ケア」の後押しにも貢献しています。今後、孤立しがちな高齢者の生活支援ニーズの多様化に向けた活動のレベルアップや、大阪市、堺市などへの仕組みの広がりが期待されます。

成果物

- 平成 24 年度活動報告書
- 寝屋川高齢者サポートセンターご利用案内
- 活動参加フォーラム・チラシ



外部有識者のコメント

介護保険財政の厳しい局面にあって、行政や地域資源を巻き込み、高齢者相互の支え合いの仕組みを構築されたことは賞賛に値する。「(組織には)僕みたいな人間が一人いる」と断言される三和理事長の卓越したリーダーシップも素晴らしい。

事業の実施には、行政へのコミットが必要であり、コーディネーション能力も求められるが、本事業は、種々の課題を見事にクリアしている。

成果物の一つである「センターの利用案内」は一覧性があり、必要な情報を分かりやすく集約していて他の模範となる。一人暮らしの高齢者への対応や休日・祝祭日への対応が今後の課題の一つであるが、民間ならではの発想と工夫とでさまざまな課題に果敢に取り組み続けていただきたい。

お問い合わせ先

〒572-0042 大阪府寝屋川市東大和町 11-1

特定非営利活動法人 寝屋川あいの会 TEL 072-801-1871

HPアドレス <http://www5.ocn.ne.jp/~ainokai/newpage2.html>

助成区分：地域連携活動支援事業

助成テーマ：高齢者等が地域で普通の暮らしをすることを支援する事業

特定非営利活動法人 おおた市民活動推進機構
「原発事故被災地域南相馬の移送支援事業」



【助成金額：11,509 千円】

ここに注目！

- 東京都大田区と福島県南相馬市の市民団体や障害者施設事業者の広域連携によって、相馬・南相馬地域で移動困難に陥っている障害者の移送支援事業が新たに始まりました。
- 数年後には被災地主体の事業運営ができるように、移送支援や事業運営のノウハウの提供など後方支援を行ってきたことで、現地に新しく作られた団体が実施主体となって引き続き事業を行っています。

事業の背景

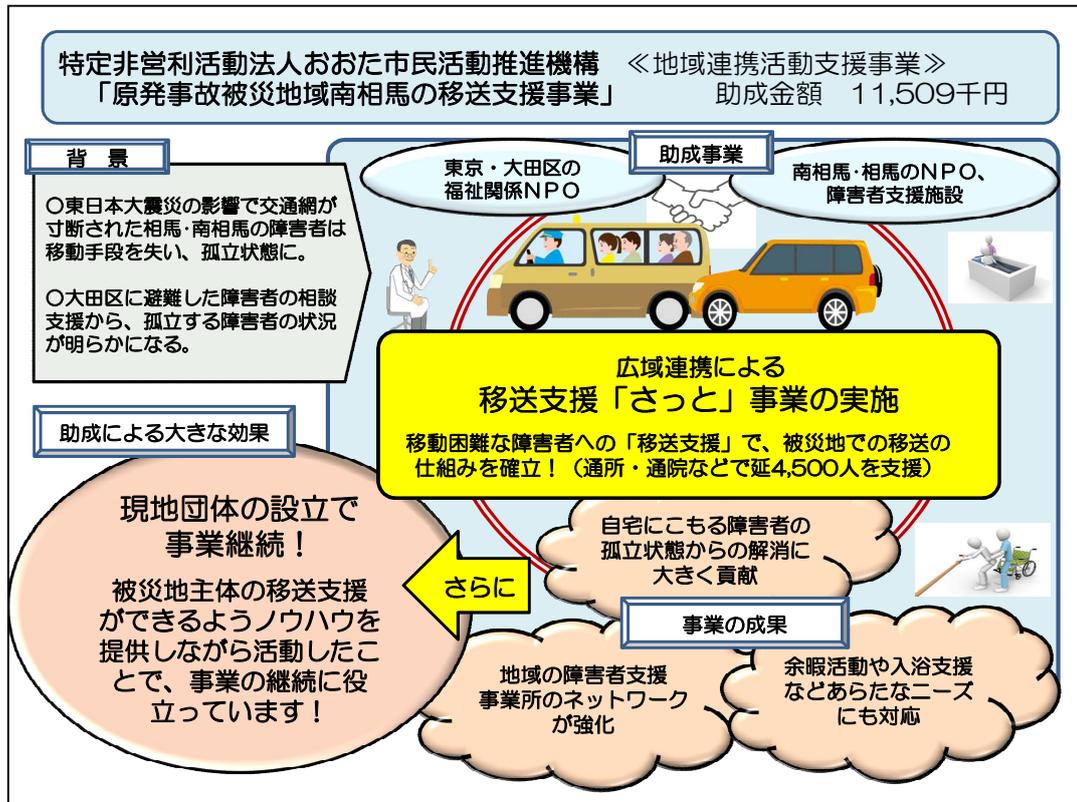
- 東日本大震災の影響によって交通網が寸断された相馬・南相馬の障害者は、通所、通院などの移動の手段を失い、被災地で孤立した生活を送っていました。一方で、受入れ先の事業所は開設数が限られることから、他の事業所の利用者受入れなどの対応に追われ、送迎の体制を自力で確保できる事業所は限られていました。
- このような現地の状況が、東京都大田区へ避難していた障害者とその家族への相談支援のなかから明らかになり、被災者の支援を行ってきた大田区の福祉関係事業所や団体と、南相馬市の障害者支援事業所が連携し、緊急課題である移送支援事業を立ち上げることになりました。

事業概要

- この事業では、23 年度からWAM助成を活用して、南相馬の事業所と連携した障害者の移送支援事業「さっと」を実施されています。通院・通所によって、気持ちが不安定になって悪化する方々は少なくなり、生活意識の変化も見られるようになるなど、徐々に移送の効果が表れるようになっていきます。また、入浴介護や余暇活動のための利用など、移送支援の新たなニーズにも対応し、利用範囲の拡大に努められています。
- 24年度の利用者は、延 4,500 人を超え、地域の移送利用希望者をほぼフォローできるまでの体制づくりを実現されています。
- 事業の実施にあたっては、現地の雇用確保も視野に入れながら、数年後には被災地主体の運営ができるような支援に徹したことで、25年度からは、新たに組織された現地団体が実施主体となり、引き続き移送支援を行っています。

成果物

○ 原発事故被災地南相馬の移送支援事業「さっと」の事業検証報告書



外部有識者のコメント

総合評価は「非常に高く評価できる水準にある」ものとしてSとした。一昨年度より始めた事業の継続として平成24年度事業を実施されたが、当初より現地主体の事業運営が出来るようになることが重要との視点を持ち、大田区内の活動実績のある現地団体の取りまとめも含めて移動サービスに関する支援方法の提案も含め、現地の雇用確保も視野に入れた計画を着実に遂行された点など、高く評価出来るものである。その成果として、現地の団体から平成25年度は事業継続のための助成申請もあり、当該NPOもさらに後方支援する体制が整いつつあるなど、他の復興支援の在り方に対するモデルとしても評価出来るものである。

当該事業は、日本NPO学会でも成果発表をするなど、事業成果を積極的に広報し、広く啓発するという視点でも評価できる。対象地域の実情も良く理解する中で、新たな移動サービスに関するサポート方法の理解を深められる努力もしてきており、今後、南相馬での継続的な移動サービスの発展につながることを期待するものである。今後はサービスを要望する方の増加もあるかと思うので、こうした事業の取り組みが一層認知されることも併せて期待したい。

お問い合わせ先

〒143-0016 東京都大田区大森北 1-30-1

特定非営利活動法人 おおた市民活動推進機構

TEL03-5753-3860

HP アドレス <http://ota-suisin.kaihiro.biz/>

助成区分：地域連携活動支援事業

助成テーマ：貧困対策等社会的支援（福祉的支援）を行う事業

「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク

「子どもの貧困支援活動ネットワーク化促進事業」



【助成金額：3,519 千円】

ここに注目！

- 「子どもの貧困」問題に取り組む支援者同士が、学習支援や生活支援などのノウハウ・課題を共有することで、「貧困の連鎖」を断ち切るためのネットワークに発展しています！

事業の背景

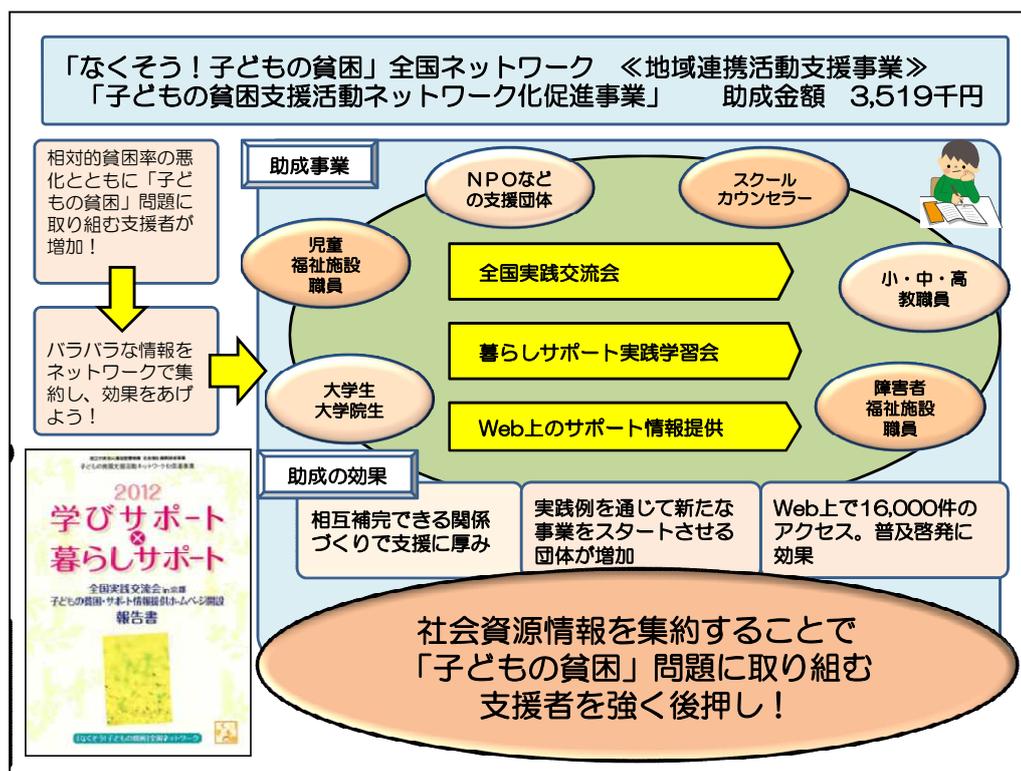
- 日本ではここ数年、相対的貧困率の悪化とともに、子どもの貧困問題への社会的関心の広がりが見られるようになりました。この関心の高さとともに、低所得者層の子どもへの学習支援等に取り組む個人や支援団体が各地で生まれ、それぞれ独自の活動が進められています。
- このような支援者の方々は、活動の継続や発展の手法に課題を抱えたまま活動している状況であり、活動実態の把握や支援している情報をつなぐ手立てが乏しい状況でした。
- そこで、この団体では、低所得世帯の子どもに対する支援情報や実践方法、課題などを共有する仕組みづくりと、「子どもの貧困」問題の実践者をつなぐネットワークの構築に取り組まれました。

事業概要

- この事業では、平成 22 年度からの「子どもの貧困」問題をサポートするための普及活動を土台として、各地の支援者が会する「暮らしサポート実践学習会」や「学びと暮らしサポート全国実践交流会」を開催しています。多分野の支援者が出会う機会を提供するとともに、各地の支援者がどのように活動し、いま何が課題となっているかを学び合うことで、支援者同士が「子どもの貧困」問題の解決に向けて相互補完できる関係が作られています。
- また、貧困に直面している家庭や支援者に向けて、生活支援情報を提供する Web コンテンツを作成したことで情報の取得がしやすくなり、生活課題の解決の促進が期待できます。
- 助成事業の実施によって、各地で「子どもの貧困」問題に取り組む活動が広がるとともに、大学生等の担い手が自らネットワークを組織化するなど、新しい動きにつながっています。

成果物

- 学びサポート×暮らしサポート全国実践交流会プログラム&資料
- 2012 学びサポート×暮らしサポート報告書



外部有識者のコメント

低所得世帯の子ども・家庭に対して強固なネットワークの基盤づくりを行い、マスコミを含めた情報発信に力を入れたことで、子どもたちの貧困問題に光を当てたという意味では、十分に意義のある事業であった。これまでの地道な活動が、「子どもの貧困対策法」などの施策にも少なからず影響を与えたということからも、時宜を得た取り組みとして評価される。ただし、それが本来の目的ではない。

子どもの貧困の問題は家庭という単位の問題であるとともに、社会への広がりを持った問題でもあり、対応策は多面的・多角的・多機能的であるべきである。したがって、従来の意味での貧困問題ということに固執せず、この分野の課題を共有する団体・個人同士のネットワークをさらに広げ、たとえば教育といった分野を超えた連携に目を向けて支援者の輪を拡大してほしい。

一方、子どもに対して、現実的に支援の効果があつたのかどうか、どのように役立っているかについても検証していただきたい。助成金による事業であり、ソーシャルアクションのための助成ではない。子どもの貧困の連鎖を断ち切ることが、ある意味で社会に負荷のかかる前の段階で問題を積極的に解決することにつながる。このような支援が社会保障費の低減にもつながる。このようなことについても啓蒙する役割もあろう。

お問い合わせ先

〒352-8558 埼玉県新座市北野 1-2-26

立教大学コミュニティ福祉学部 湯澤直美研究室

「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク TEL 070-6576-3495

HP アドレス：<http://end-childpoverty.jp/>

助成区分：全国的・広域的ネットワーク活動支援事業

助成テーマ：高齢者などが地域で普通の暮らしをすることを支援する事業

NPO法人 ハイテンション

「ロック&アートによる障害者自己啓発事業」

【助成金額：7,337 千円】



ここに注目！

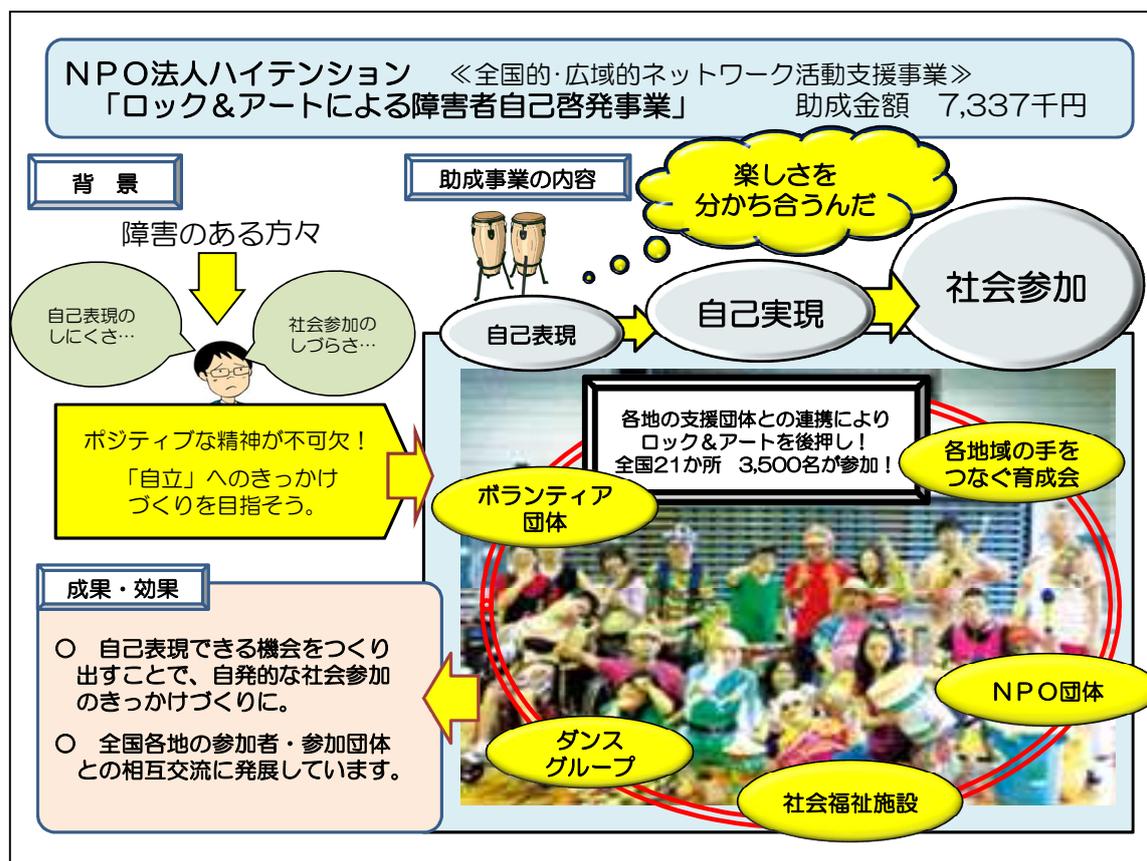
- 障害のある方に、ロック、リズム、アートなどの具体的な手段で自己表現できる機会を提供したことで「ポジティブな精神」が育まれ、自発的な社会参加につながっています。
- 全国にネットワークをもつ福祉団体とのコラボレーションで、各地の参加者・団体との相互交流に発展しています。

事業の背景

- 福祉事業所やグループホームの増加などによって、障害のある方が地域で生活するにあたってのハード面は徐々に改善されてきています。しかし、地域で暮らす障害者が感じている「自己表現のしにくさ」や「社会参加のしづらさ」に向けた内面的な支援は、未だに不足している現状があります。
- そこで、この団体では、障害のある方自身が求める「自立」に不可欠な、「生きる喜びの気づき」や「自分らしさの発見」といったソフト面の支援が必ずしも充分ではないという問題意識から、ポジティブな精神を育むための芸術活動による支援に取り組みられました。

事業概要

- この事業では、障害のある方ご自身が、生きる喜びや自分らしさを発見し、自発的自立への意欲へとつなげることを目的として、手作り打楽器によるリズムワークショップ&ライブと参加型イベントが各地で実施されました。
- 社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会と連携し、被災地（11 か所）と全国各地（10 か所）を巡回。各地の障害者関係団体と情報共有しながら活動したことで、集客面での効果があがり、全国21か所のライブに3,500名もの方々が訪れるという盛大なイベントとなりました。
- ロック音楽の躍動感や絵画アートの開放感もつインパクトに加え、ロック、リズム、アートという具体的な手段で自己表現する機会を提供したことで、障害のある方の社会参加につながっただけでなく、参加者と参加団体の相互交流を促す効果が得られています。
- 事業が行われた開催地では新しい音楽チームが誕生し独自の活動がスタートするなど、「ポジティブな精神」を育むための支援に波及効果がみられます。



成果物

- Rock and Art Tour2012-2013 報告書
- 各種開催案内チラシ

外部有識者のコメント

障害者自立支援法の成立以降に実施できることになった「ロックンロールを仕事にする福祉事業所」の実践を全国に広げた事業であり、その理念も含め、高く評価したい。

障害者の潜在性を開花させる「ロックアンドアーツ」という新しい自己啓発手法の斬新さ、全日本手をつなぐ育成会や音楽界とのネットワーク力、21回に及ぶコンサートで3500人の参加を得た集客力・・・など、質的にも量的にも高い達成度があり、昨年度のWAM助成における特筆すべき成果の一つと言える。

お問い合わせ先

〒243-0014 神奈川県厚木市旭町 2-9-15 メゾンサモワール 1 階
 NPO法人 ハイテンション TEL 046-281-7737
 HP アドレス <http://hitension.org/index.html>